

観光資源の魅力アップにより観光客の大幅増加

1 「2009鳥取・因幡の祭典」(計画素案)

提案内容	実施状況	主な取り組みの内容(実績)	担当課
文化的企画を追加すること、一過性のイベントではなく将来的続く鳥取市の観光的な魅力に繋がる内容とすべき		<p>「2009鳥取・因幡の祭典」は、高速道路を活かした観光振興、地域の活性化をめざした取組です。鳥取自動車道の開通にあわせて、周辺の1市4町が連携し、各地域でそれぞれ大切に受け継がれてきた行事や資源を活用し、地域住民総参加による地域おこしの仕掛けなどが盛り込まれています。</p> <p>また、一過性のイベントではなく、美しい自然、伝統芸能、食文化、あるいは温泉などの多様な観光資源に磨きをかけて、多くの方にその評価をいただき、リピーターとなっていただくということが主眼です。</p>	鳥取・因幡の祭典推進局

2 鳥取砂丘を中心とした観光資源

提案内容	実施状況	主な取り組みの内容(実績)	担当課
<p><イベントの充実> 季節(1月、6~7月)の砂丘観光入込客数の減少への対応として、下記イベント等(案)のような取り組みをすべき。 <イベント等(案)> 1月~2月 砂丘温泉 雪の砂丘フェア 3月~4月 春の観光フェア 文学・風紋 5月 ゴールデンウィークフェア 子どもの国フェア 6月 自然体験・食フェア 7月~8月 海水浴、夜の砂丘(漁火)、食フェア(白いか) 9月~10月 砂丘スポーツ大会 11月 さつきょうの花フェア 食フェア(松葉かに) 12月 砂丘イリュージョン</p>		<p>・砂の美術館(H20~) 第2期(H20.4.26~H21.1.3) 第3期(H21.9.18~H22.1.3) イベントカレンダー<2009年> 3月~4月 桜まつり 6月 樗谿公園ホテル鑑賞会、 吉岡温泉ホテル祭 7月~8月 海水浴、サンセットクルーズ 8月 鳥取しゃんしゃん祭 9月~1月 砂の美術館(第3期) 10月 鳥取32万石お城祭り 11月 らっきょうの花フェア カニフェスタ 12月 砂丘イリュージョン</p>	観光コンベンション推進課 鳥取砂丘室
		<p>「松葉かにの日」に指定された11月第4土曜日に鳥取港で、松葉がにと賀露西浜地区をPRをするるとともに、地区の水産業の振興と地産地消の推進を図るため、鳥取かにフェスタ実行委員会主催により「鳥取かにフェスタ」が開催されています。平成20年は、県内外から2万人の集客がありました。</p>	林務水産課

平成19・20年度市政懇話会提案内容対応状況調査

提案内容	実施状況	主な取り組みの内容(実績)	担当課
<p>< 広報 > 観光客に行きたいと思わせるような魅力ある観光パンフレットの作成 (例)鳥取砂丘の観光ガイドと年間又は季節でまとめて情報発信(インターネット、チラシ、パンフレット)の充実 期間:9月～11月『オータムフェア in 鳥取砂丘(秋のお楽しみ)』 サンドボード大会、砂丘マラソン、ゆるきゃら大会、砂丘ウォーキング、らっきょうの花フェア、砂丘産物フェアなどをまとめたパンフレットの作成</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・観光パンフレットの作成 鳥取旅時間、市街地マップ、鳥取図鑑など ・ホームページの充実 観光協会ホームページの改修 	観光コンベンション推進課 鳥取砂丘室
<p>< 広域観光連携 > ジオパークのエリアを拡大し、中部エリアの観光資源と連携 現在のジオパークエリアに浜村、青谷海岸を加え、 ・夕日の見える山陰海岸ジオパーク遊覧 ・ジオパークエリアと三徳山までを結ぶ観光ルートの構築 などを実施する。</p>		ジオパークエリアは、学術的に明確化された地質的なつながりが必要となります。浜村、青谷海岸は山陰海岸国立公園とは異なる地性・地質を持ち、地質的なつながりが見られないことから、現在のジオパークエリアに加えることはできません。 なお、浜村、青谷海岸は、西因幡県立自然公園のエリア内にあり、計画的に、景観保護と利用促進が図られています。これらのエリアと中部やジオパークエリアとの連携した観光ルートの構築は、今後検討すべき課題と認識しています。	企画調整課
		因幡・但馬広域観光キャンペーン実行委員会において、ジオパーク活動を推進しており、21年度には広域観光について研究される計画です。	観光コンベンション推進課
<p>< 特産品の開発 > 2008年秋の「らっきょうの花フェア」にて試みられた様々なカレーのように、砂丘にちなんだ「食」や「みやげ」の開発(2009鳥取・因幡の祭典開催期間に間に合わせて、開発すべき)</p>		食品加工産業を育成するため、食品加工事業者の新商品開発等の支援を行う補助制度を創設しています。また、ふるさと雇用制度を活用し、新商品の開発等を支援する職員を配置しています。	経済戦略課
		砂丘魅力アップ協議会等で特産品等の検討が進められています。	鳥取砂丘室

平成19・20年度市政懇話会提案内容対応状況調査

提案内容	実施状況	主な取り組みの内容(実績)	担当課
<p>< 市内観光への誘導 > 滞在型観光を強化するためには、旧市内での宿泊施設の集中に着目し、市内宿泊者が夜間(18時30分～22時ごろ)に楽しめる観光メニューの充実策が必要。 (例) 女性同志、親子連れの観光メニュー 連休、夏休みなどの期間に文化施設(民芸美術館、やまびこ館、童謡・おもちゃ館など)開館時間の延長 月に1回、パレットとっとり(本通り)で「民謡、童謡・唱歌、傘踊り体験など」の郷土芸能イベントの実施。(観光シーズンは2回に増加する。)</p>		<p>【わらべ館】 夏休み期間(8/1～8/16)開館時間を2時間延長しています。</p>	文化芸術推進課
		<p>(市街地観光への取り組み) ・鳥取城跡にガイド小屋設置(きなんせえ家) 【H21.4～7】利用者約1600名(うちガイド124名) ・ガイドメニューの造成 観光ガイドと歩こう、鳥取てくてく食べ歩き、 荒木又右衛門ゆかりの地めぐり (夜間メニューの取り組み) ・砂の美術館 ・樗谿(おうちだに)公園ホタル鑑賞会 ・因幡の郷土芸能祭の実施(因幡の祭典)</p>	観光コンベンション推進課
		<p>やまびこ館・仁風閣等で臨時開館(GW期間中・飛び石連休)及び開館時間の延長(やまびこ館:ホタル観賞期22:00まで、仁風閣:ライトアップ期間21:00まで等)を行っています。</p>	文化財課

提案内容	実施状況	主な取り組みの内容(実績)	担当課
<p>< 商店街の活性化 > 店舗の開店時間を延長(20時まで)。 商店街でテーマを決めて、音楽を流し、また、ウインドー展示をし、観光客をはじめ訪れる人を楽しませる工夫をする。(例:童謡・唱歌通り、レトロ(歴史的なものを展示)ストリート、美術館通り(子どもの作品展示)など) 特選品の提供店舗に充実 ・特産品のPR強化として、既存の飲食店での提供体制の強化 ・特産品による「2009鳥取・因幡の祭典」にちなんだ「料理」、「新作・限定料理」の開発促進。 (例)『もさえびバーガー』、『ナシータカレー』、『ほんもろこ料理』、『鳥取和牛料理』のようなもの。</p>		<p>【商店街でのウインドー展示】 「放哉を書く全国書道展」の入選作品を若桜街道沿いの5つの民間ギャラリーで展示し、中心市街地の賑わいづくりを行いました。今後も事業を継続します。</p> <p>・各商店街でイベント等企画し、運営を行っています。 ・平成21年度は商店街イベント開催支援事業として補助率及び限度額の引き上げを実施し、商店街の取組みを促進しています。</p>	<p>文化芸術推進課</p> <p>経済戦略課</p>
<p>< 交通アクセス > 観光客にとってわかりやすい交通案内の表示の整備を各交通関係機関への働きかける。</p>		<p>平成21年度には、県、市街地整備室、都市計画課が事務局担当している駅北口広場の改修に、観光看板や交通サインの整備を行う予定としています。</p>	<p>観光コンベンション推進課</p>
<p>< 花観光 > 女性に人気が高い「花」をはじめとする植物(さくら、紅葉、らっきょうの花、はまなす、コスモス)をテーマとした観光パンフレットの作成。 『花の名所案内マップ』</p>		<p>・素材の洗い出し さくら、つつじ、睡蓮、藤、紅葉ほかの見所ポイントの情報提供</p>	<p>観光コンベンション推進課 鳥取砂丘室</p>
<p>< 農村観光 > 特に都市部の人の憩いの場として、農山村地域の体験観光、修学旅行の誘致を一層の充実 (例) 鬼入道での連泊型グリーンツーリズムのためのメニューの創出。</p>		<p>鬼入道での取組のほかに、佐治地域で「梨、話、和紙、星、石」を広くPRするために、平成20年度に五しの里さじ地域協議会を立ち上げ、スローライフ体験をできるメニューの企画や観光素材の磨き上げを行っています。</p>	<p>地域振興室 観光コンベンション推進課</p>
<p>< 祭・歴史・史跡観光 > 「2009鳥取・因幡の祭典」プログラムで紹介されている「祭・歴史・史跡」のより一層の観光客集客力強化を進める。 ・花のまつり、木のまつりを市民対象から観光客(市外者)対象への転換 ・城下町鹿野の風情と鳥の劇場のコラボ ・河原城、河原あゆまつり、河原道の駅の観光周遊ルート ・山陰海岸の夕日、漁火、鳴砂などを白兔道の駅で情報発信</p>		<p>・ガイド組織の充実 各エリアごとのガイド組織の立上、推進 ・各エリアでのガイドメニューの造成 (のんびり歩こうや) 河原エリア「上方往来 鶯の家並み」など</p>	<p>鳥取・因幡の祭典推進局 文化芸術推進課 観光コンベンション推進課</p>

平成19・20年度市政懇話会提案内容対応状況調査

提案内容	実施状況	主な取り組みの内容(実績)	担当課
<p><温泉> 「健康」をキーワードとした温泉活用(医療+温泉、エステ施設+温泉など)は設備投資が大きいことから、現状のままでできる「レトロ」、「隠れ湯」をテーマに温泉を活用する。</p>		<p>・吉岡温泉の活性化と本市の観光振興を図るため、15年度より吉岡温泉のまちなみ整備や施設改修に対して補助をしています。 ・まちなみに関しては昔の風情を取り戻す取り組みを行っており、旅館施設の改修に関しても、落ち着いたものとなるよう努めています。</p>	観光コンベンション推進課

3 関西圏での「2009鳥取・因幡の祭典」と「鳥取自動車道開通」PR体制

提案内容	実施状況	主な取り組みの内容(実績)	担当課
<p>との組み合わせ 名前を知ってもらうためのPR方法 TV、ラジオCM、ポスター・案内看板の設置、PRイベント(単発、継続)の実施、チラシ配布、マスコミ・旅行会社等への資料提供 行ってみたいと思わせるPR方法～良かった体験の拡大～ お試ツアー客による口コミ、県人会の活用、観光大使の活用、旅行雑誌等への鳥取体験の掲載、鳥取市ファンづくり、趣味(たとえば釣り、ハングライダー、「ゆるきゃら」好きなど)仲間の活用、特産物フェア、県民性等を捉えたPR、インターネット配信</p>		<p>・OSAKA光のルネサンスに砂像を出展し、2009鳥取・因幡の祭典のオープニングイベント「世界砂像フェスティバル」のPRを行いました。 この砂像は、関西圏のテレビやラジオなどで多数取り上げられ、高い宣伝効果が得ることができました。 ・また、会場では、「2009鳥取・因幡の祭典」と「鳥取自動車道開通」のPRチラシの配布、鳥取市ブースでイナバースグッズなどを販売などにより広報活動を行いました。</p>	秘書課広報室
<p><PR例> いなば協力店のオーナーなど、鳥取市独自のファンクラブ(とっとり因幡ファンクラブ(仮称))を作る。会員には、「2009鳥取・因幡の祭典」特典クーポンを配布するなど会員特典ありに 観光大使「ぺべさん」のような芸能活動者が鳥取のおもしろ散策を行い、雑誌等に掲載 「ゆるきゃら」などを趣味を持つ人をターゲットにしたPR(『ゆるきゃら通信』) 大阪人に受けるような笑いのあるCM(CM例:砂丘から大魔神が出てきて、「2009鳥取・因幡の祭典」へきんさいな!)など、テレビ・ラジオ等CMについては、インパクトのあるものに。 大阪千里での特産物フェアのような企画を「神戸市」や「姫路市」で行う。</p>		<p>観光大使への情報提供 PRポスターを使っの県外PR(鳥取・因幡PR)</p>	観光コンベンション推進課
		<p>平成20年度、21年度に岡山市で開催される全国有名朝市フェアや姫路市農林漁業まつりに出店して、本市の特産品や加工品販売を行っています。</p>	農業振興課

4 「受け入れ体制」と「おもてなし」

提案内容	実施状況	主な取り組みの内容(実績)	担当課
<p>おもてなし体制の充実が市民が取り組むべきこと。 おもてなしの基本は、「来鳥者に嫌な思いをさせないこと。」「もう一度来てくださいという思いを持つこと。」「つまり、おもてなし『鳥取ファン』の誕生 リピーターの増加のサイクルを作る。</p>		<p>・観光大学の実施 観光マイスターの認定 137名(H21.3現在) ・観光ガイドによる案内 市内全体で約3000名(H20年度) 市街地 約1100名、鹿野 約1500名、用瀬・国府・河原・気高 約400名</p>	観光コンベンション推進課

平成19・20年度市政懇話会提案内容対応状況調査

提案内容	実施状況	主な取り組みの内容(実績)	担当課
<p><ふるさと鳥取づくり、ガンバレ民間企業> 「ふるさと鳥取の良さ」が市民に浸透する契機づくり ・「2009鳥取・因幡の祭典」を一過性のイベントで終わらせない。 ・『産業としての観光』に加えて特産物・文化・歴史・史跡などの魅力を強化し、『ふるさとを感じられる観光』に取り組む。 ・観光客の増加による経済効果は観光産業だけでなく、小売業・サービス業・飲食業・運輸業などあらゆる産業に及ぶ。鳥取自動車道が開通を視野に、市内進出企業に負けない企業体制づくり</p>		<p>観光産業を本市の基幹産業としていくため、物産振興を始め、各産業に結び付けていく施策に力を入れています。</p>	<p>経済戦略課</p>
<p><外国人旅行者へのおもてなし> ツアー、ホテル予約時から、言葉、習慣(宗教、食べ物)の違いなどへの注意とともに、外国語の観光案内板、鳥取観光ガイドブックの作成と手軽に入手できるサービスの提供</p>		<p>外国語パンフレットの作成(英・韓・中) 外国語HPの更新 PR用映像の作成(外国語対応)</p>	<p>観光コンベンション推進課</p>

5 鳥取市の観光政策

提案内容	実施状況	主な取り組みの内容(実績)	担当課
<p>鳥取大阪事務所の職員の増員(P R体制の充実等)</p>		<p>関西圏からの観光客の増加や企業誘致を図るため、鳥取県関西本部の事務所内に鳥取市関西事務所職員2名を配置し、エージェントへの営業活動や企業まわりを実施しています。</p>	<p>職員課 観光コンベンション推進課</p>

提案内容	実施状況	主な取り組みの内容(実績)	担当課
<p>鳥取自動車道の開通による「山陽・関西圏」からのアクセスが向上をチャンスと捉え、観光コンベンションを推進を支援する予算の増額(PR費、食堂・レストラン等での地場産品の活用支援、観光施設の改良費、ホテル・旅館・土産品店の改築支援など)鳥取市の基幹産業の一つとして育成する</p>		<p>鳥取自動車道の開通を好機と捉え、「知名度アップ大作戦」(20年度:18,220千円、21年度:31,675千円)、観光サイン設置事業(20年度:14,679千円)、観光施設重点改修事業(20年度:25,201千円)、国際交流費(20年度:3,749千円、21年度:15,233千円)、コンベンション誘致支援事業(20年度:2,325千円、21年度:5,705千円)など予算の重点化を図りました。</p>	<p>行財政改革課</p>
		<p>鳥取自動車道の開通を見込み、「山陽・関西圏」からの観光客の増大を図っています。特に「砂像のまち鳥取」を全国にPRするため、「砂の美術館第2期」を平成20年4月26日～平成21年1月3日まで開催し、322,197人の入場者があり、高評価を得ました。</p>	<p>観光コンベンション推進課</p>
<p>特産、食の充実と観光 「食のみやこ鳥取」でアピール、PR体制を充実すべき 『鳥取和牛、大山地鶏ピヨ、二十世紀梨、西瓜、長いも、らっきょう、広留野大根、松葉がに、白いか、もさえび、宝木の水、布勢の水、酒米、ほんもろこなど』を提案したい。</p>		<p>本市のブランド農産物登録制度や県のふるさと認証食品の登録を推進し、安全・安心な農産物の生産振興とPRに努めています。また、鳥取県東部地域の和牛ブランドとして「因幡和牛」のポスター制作費等の販売促進に対しても支援を行っています。さらに、らっきょうや二十世紀梨のトップセールスを実施しています。</p>	<p>農業振興課</p>
		<p>「松葉がにの日」に指定された11月第4土曜日に鳥取港で、松葉がにと賀露西浜地区のPRをするとともに、地区の水産物の振興と地産地消の推進を図るため、鳥取がにフェスタ実行委員会主催により「鳥取がにフェスタ」が開催され、県内外から2万人の集客がありました。 また、ハタハタをPRするため鳥取県産魚PR推進協議会において「はた坊」というPRキャラクターを決定し一夜干しなどの加工品のPRを行っています。</p>	<p>林務水産課</p>
<p>「安・近・短」の観光ニーズに対応できるようにする</p>	<p>観光関係者への提言</p>		